

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 1日

事業所名 すだちクラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・近隣の公園や体育館を利用し、子供たちに合わせた活動を提供しています。	・集中して宿題に取り組めるようパーテーションを使用したり、座席を指定しています。
	2 職員の配置数は適切である	6	0	・1日の利用定員10名に対して、5名の職員を配置しています。 ・子供たちが自分のもっている力(長所や強み)に気づき発揮させることで自立に向けて援助しているため、完全個別対応は行っていません。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	・建物の構造上バリアフリーではありませんが、階段に手すりや滑り止めマットを設置しており、転落防止に努めています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・日々の業務終了後にその日の出来事を振り返り、様々な意見を出し合い、話し合いを行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・定期的にアンケート調査を行い、保護者のニーズを把握し、なるべく意向に沿えるよう支援しています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・IZUMO自立支援センターホームページに掲載しています。 ・保護者へ配布しています。 ・職員へ回覧で周知しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	・第三者委員会による外部評価は行っていませんが、外部アドバイザーによる評価や意見を業務改善に役立てています。	※無回答 1
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・毎月1回、所内研修を実施しています。外部アドバイザーを招き、フォローアップ研修を開催したり、障がい基礎研修や虐待防止研修を行っています。 ・オンラインセミナーに参加し、アセスメントや特性に応じた支援方法、就労に向けた取り組み等々、常にスキルアップを目指して取り組んでいます。職員へ伝達研修も行っていきます。	
適切な+	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	・標準化されたアセスメントツールと、日々の行動観察をしっかりと記録し、課題の分析を行っています。 ・課題にばかり目を向けず、子供たちの強みを活かした支援計画書を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・専門家指導の下、標準化されたアセスメントツールを使用し、定期的に発達の状況を把握しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・集団活動と長期休業中の活動プログラムは担当を決めています。その他職員が情報提供したり、子供たちからリクエストを聞きながら、みんなが楽しめるような活動を提供しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・SST、巧緻動作、造形、季節の活動、ゲームと5つの活動を基本とし、その中で子供たちが飽きないよう様々な内容のプログラムを提供し、成功体験を積み重ねていけるよう工夫しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	・外出する機会を設けており、社会生活に触れ合うことで多くの知識を吸収したり体験できるように計画しています。	

文 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	・子供の状況に応じて、支援内容を細かく設定し、支援計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・ミーティングを行い、その日の支援内容や役割分担を議事録に記載し、周知徹底しています。 ・個別対応が必要な子供は、事前にとの場面で、誰が担当するのかを決めて支援しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・支援の振り返りを行うことで、新たな気づきを次の支援の参考にしていきます。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・記録のとり方は徹底しており、日々の支援の改善や個別支援計画を作成するための必要な情報だと思っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・半年に1回モニタリングを行っています。必要に応じて相談支援専門員も参加してもらい、支援の内容や課題、保護者のニーズを共有しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0	・基本活動を意識した活動を提供しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	・保護者から行事予定や下校時間の連絡をいただいています。下校時間に変更がある場合も、保護者から変更連絡をいただいたり、直接先生と確認し合うこともあります。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6		※現在受け入れを行っていません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	・情報提供書をいただいたり、支援会議の際、共有させてもらっています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	・他事業所を利用される場合は、支援会議に参加したり、相談支援専門員を通じて情報提供を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	・子供によって、専門機関と連携しています。助言をしていただいたり、支援会議で課題を共有させていただいています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3	・近隣の公園や外出先で関わる機会があります。 ・家族会に参加する兄弟姉妹と一緒に活動しています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1	・ささえる専門部会、児童WGに参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・記録を公開しているので保護者が日々の様子を知ることができます。お迎えの際や送迎の際に状況や課題について話し合うこともあります。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	・弊所のウリでもある家族会を定期的に開催し、ペアトレや悩み相談、個別面談を行っています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・契約時に説明を行っています。変更がある際は、文書にて周知しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・日頃から保護者とやり取りしながら必要な助言や支援を行うよう努力しています。	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	・家族会の中で保護者同士で交流する時間があります。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・苦情があれば、迅速かつ適切に対応するように努めています。	※無回答 1
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・月1回、すだちだよりを発行、配布しています。 ・行事予定等、周知しなければならない情報は、文書やメールにて発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	・十分注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・子供たちへイラストや文字による視覚支援を、保護者へ、分かりやすい言葉で伝えたり、連絡事項は文書やメールで繰り返し伝えるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	・家族会に兄弟姉妹も参加しています。	※無回答 1
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	・事業運営マニュアルを契約時に配布しています。変更があった場合はメールにて周知、職員へ回覧や所内研修の際、周知しています。	・保護者と周知方法について、アンケート調査を実施し、確認しながら、ご理解いただけるよう努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・年2回、避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・虐待防止研修を年2回以上、気になることは都度、ミーティングで話し合い、議事録で周知徹底しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	・保護者へ飛び出しや他害がある場合にやむを得ず身体拘束を行う場合があることを説明しています。 ・身体拘束を行わないために予防策を考え、職員間で統一した支援を行うよう都度確認合っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・保護者を通じて対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・ヒヤリハットが起こった際は直ぐに予防策や改善策を検討し、同じようなことが起きないよう職員に周知徹底しています。 ・作成した事例集は所内で閲覧できるようにしています。	